

Calligraphic arrangement by Mishkin-Qalam of the invocation: O Thou 'Abdu'l-Bahá 'Abbás!

ミシキン-ガラムによる筆記体ひっきたい いみ: 意味は「おおアブドル・バハ・アッバス！」\*

# ひるの星

No. 233

## 目次

アブドル・バハの言葉ことば・・・2

アブドル・バハ・・・・・・・・・・3

沖縄のお話しおきなわ はな・・・・・・・・・・4

アブドル・バハと日本にほん・・・6

アブドル・バハの言葉ことば・・・8

クイズ・・・・・・・・・・13

ウィンター・スクールの子供こども・14

ノウルーズの卵たまご・・・・・・・・15

両親りょうしんのページ・・・・・・・・16





## アブドル・バハ

これまでの「ひるの星」で学んだように、いつの時代でも神様は人類を導く新しい偉大な先生を送られてきました。その先生達は私達に喜びと素晴らしい世界をつくる方法を教えられました。今の新しい時代には神様はバハオラという偉大な先生を送られました。バハオラはその教えを私達にわかりやすく説明してくださるアブドル・バハを送られました。

アブドル・バハはバハオラの長男でした。バハオラはアブドル・バハが聖約であることを私たちに教えられました。聖約とは、約束という意味です。それは、神様は絶対に人間を見捨てないという約束です。

バハオラはアブドル・バハを「神の神秘」と呼ばれました。というのも今までにアブドル・バハのような人はいなかったからです。アブドル・バハは誰にでも僕として仕えました。アブドル・バハは貧しい人には必要なものを与え、病気の人がいれば、その面倒をみられました。アブドル・バハはいつも御自分のことよりも他の人のことを心配されました。アブドル・バハの生涯は私達にいつも他の人を愛と優しさでお世話するようにと教えています。アブドル・バハは私達の人生で一番の喜びは困っている人をお世話して喜ばせてあげることでありと教えています。

バハオラはそのお導きに従えば私達は「新しい人種」になると言われました。これまで

にない<sup>すなお</sup>素直<sup>ぎょうぎ</sup>で行儀<sup>よ</sup>の良<sup>ひと</sup>い人<sup>ひと</sup>になれるのです。バハオラは私達<sup>わたしたち</sup>がそのよう<sup>ひと</sup>な人<sup>ひと</sup>になれるよう

にアブドル・バハ<sup>てほん</sup>を手本<sup>おく</sup>として送<sup>おく</sup>られた<sup>おく</sup>のでした。

バハオラはアブドル・バハ<sup>つぎ</sup>について次<sup>い</sup>のよう<sup>い</sup>に言<sup>い</sup>われました。「我<sup>われ</sup>は汝<sup>なんじ</sup>を全<sup>ぜん</sup>人類<sup>じんるい</sup>の隠<sup>かく</sup>れ家<sup>が</sup>

となし、天<sup>てん</sup>と地<sup>ち</sup>の全<sup>すべ</sup>ての者<sup>もの</sup>の盾<sup>たて</sup>となした。」\*

アブドル・バハ<sup>こ</sup>は子<sup>こ</sup>どもが特別<sup>とくべつ</sup>好き<sup>す</sup>です。そして皆<sup>みな</sup>さん一人<sup>ひとり</sup>一人<sup>ひとり</sup>を愛<sup>あい</sup>しています。皆<sup>みな</sup>さん  
はアブドル・バハ<sup>こころ</sup>の心<sup>こころ</sup>にいます。

## アブドル・バハと日本

おそらく皆さんはアブドル・バハのすばらしい言葉や行動などの愛にみちた



物語を聞いたことがあると思います。アブドル・バハ

はどこに行かれても愛と親切でおたがいが助け合う

ように人々にお手本を示されました。ところで皆さん、

アブドル・バハが日本と日本人に特別の関心をもたれ

たのを知っていましたか？

100年前山本寛一さんがアブドル・バハに日本語の手紙を書きました。アブド

ル・バハは日本語をご存知ではなかったけれども言葉から来る心はもちろん

理解されました。そして山本さんに美しい手紙を書き送られました。アブド

ル・バハは手紙の中で次のような言葉を書かれました。「牧草地のあらゆる小鳥

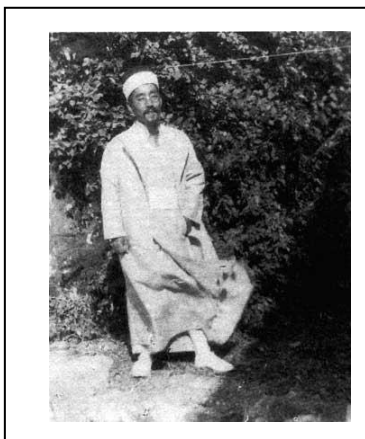
に靈感を与えて歌わせるために、汝はバラ園に於ける意義ある鶯のようにさえ

ずらなければならない。」鶯は鳥の中でもとても美しい鳴き声をもっている

のです。アブドル・バハは山本さんに、バハオラの美しい教えを皆に伝えてほ

しいと言っていたのでした。山本さんは、バハオラが神から送られた新しい

人類の先生と知って従うことにした最初の日本人でした。



1912年にアブドル・バハはアメリカを訪問されました。

そのときアブドル・バハのことを聞きつけてとても会いたがっている藤田佐

一郎という若い日本人学生がいました。藤田さんは、アブドル・バハに会って

たくさんのことを学びました。二人はとても親しい間柄になりました。藤田さ

んは、アブドル・バハといっしょにアメリカのたくさんの場所を旅行しました。

アブドル・バハはイスラエルに戻られたとき藤田さんにアメリカに残って大学

で電気とかできるだけたくさんを勉強するように言われました。そして

聖地イスラエルに戻ってアブドル・バハを手伝って欲しいと言われました。藤田

さんは言われた通りにしました。藤田さんは、アブドル・バハが亡くなられた後

もイスラエルに残り、年老いるまで他のバハイに仕えました。藤田さんは世界

からの訪問者を愛とやさしきで迎えました。このたくさんの人々は愛と尊敬を

もって藤田さんを思い起こしています。なんと藤田さんも山本さんも山口県

出身なのです。

1912年にアブドル・バハがパリを訪問されたときスペインの日本大使夫妻が

アブドル・バハに会いたがっていました。その面会の夕べに大使夫人が風邪を引

いてしまいました。さらに雨で外も寒かったので大使夫妻はアブドル・バハに

面会するのはあきらめていました。でもアブドル・バハはそんな天候の中この

二人に会いに行かれました。この面会のときアブドル・バハはこの夫妻に言わ

れました。「科学的発見は物質的文明を増進させて来た。幸いに、今だに人間に

より発見されていない驚くべき力が存在している。精神文明が人間の心を支配

する迄は、この力が科学によって発見されないよう敬愛する神に嘆願しよう。

低俗な性格を持つ人間の手に入れば、この力は全地球を破壊し得るであろう。」



もちづき ゆり  
望月百合

さいしょ じょせい ぼはい  
最初の女性のバハイ  
でした

じっさい ちから げんし ばくだん しよう ねんまえ にほん  
実際にこの力、原子爆弾が使用される 30年前にアブドル・バハは日本

たいし あんじ  
大使にこのことを暗示されたのでしょうか？

アブドル・バハは100年以上も前にたくさんのほかの要人ともお話

しを交わされました。そして日本がどんなに特別な位置にあるかを次

のように説明されました。

「日本は物質文明において素晴らしい発展を成し遂げています。精神的

にも発展し、神の王国の御業が顕われるようになると完璧になるでしょ

う。」アブドル・バハに応じて日本が完璧になるように私達みんなががんばりましょう。



ことば  
アブドル・バハの言葉

「様々な旋律が混和して完全な和音となって音楽になるように、人類家族の多様性は愛と調和の源泉となるべきです。自分とは異なる人種や肌の色の人と出会ったときは……彼らに思いやりを示しなさい。彼らを人類の美しい花園に咲く色の違うバラと考え、彼らの中にいることを喜びなさい。」\*

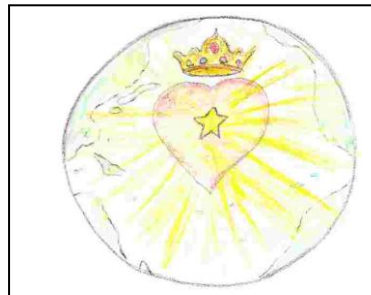


「人類の一体性が人類世界の神殿に確立されるように、あなた方一人一人が海の一つの波、天の一つの星、同じ木を飾る果実、一つの園のバラとなりますように。」\*



「見知らぬ人でも汝の家族と同じように世話し、よそから来た人でも汝の親愛なる友と同じように愛情深く親切にしなさい。」\*

「神は、皆さんに榮譽の王冠を与え、皆さんの心に輝く星をちりばめてくださいました。まことにその光は全世界を明るくすることでしょう。」\*







## 沖繩の子供のお話し

沖繩の、ある 5人の子供のお話しです。ある日シヤラがお母さん

にたずねました。「お母さん、アブドル・バハが「聖約の中心」って、どういうこと？聖約

って、なあーに？アブドル・バハが、なぜ中心なの？」お母さんは微笑んで、ちょっと考

えてから答えました。「お母さんはね、子供の頃、教会の日曜学校に行ってたのよ。その頃、

聖書の『ノアの箱舟』というお話しを聞いたことがあるの。そうね、このお話しが、あな

たの質問に答えられると思うわ。」他の4人の子供もお話しと聞いて集まってきました。

みんなお話しが大好きでした。末っ子のアニサはお母さんのひざの上にちょこんと座りま

した。「そのお話しって、こうなのよ。」...

「ずいぶんと昔のこと、人々はとても悪い人になっていました。彼らは互いに傷つけた

り殺したりしました。みんな自分勝手に誰も他の人のことは考えもしませんでした。神様は

大変悲しまれて、人々が善い人になるようにとノアを送られました。ノアの使命は人々が

神様に従うように導くことでした。でも誰もノアに耳を傾けようとしませんでした。そ

こで神様はノアに箱舟をつくるように命じられました。それはとてつもなく大きな船でし

た。というのも神様は大洪水を起こそうとされていたからです。神様はノアに箱舟ができ

あがったら、ありとあらゆる生き物のオスとメスをその船に乗り込ませよと告げられまし

た。これを聞いたノアは最初こんな大きな仕事を嫌がりました。自分にはできないと思っ

たからでした。でも神様はやってみなさい、手伝うからと言われました。そう言われてノ

アは一生懸命がんばって、その船をつくり始めました。人々はどこにもそんな大きな船を浮

かべる水もないのにとノアをバカにして笑いました。そこでノアは神様が大雨を降らせて

大洪水が起きることを人々に警告しました。それでも誰もノアに耳を傾けようとしませ

んでした。ついに箱舟ができあがりました。そして、ネコ、ネズミ、ゾウ、ライオン、ト

ラ、鳥と世界中のありとあらゆる生き物のオスとメスが乗り込んだのでした。それからノ

ア夫妻と息子達夫婦が乗り込みました。その他は誰も乗り込みませんでした。そのとき突然、

雨が降り出し洪水がやってきました。たくさんの人々が、その水に流されてしまいました。

箱舟はその洪水の上を幾日も漂いました。そしてとうとう、その箱舟は丘にたどり着き、生

き物達とノアの家族はその丘に上陸して助かりました。」

それからお母さんは微笑んで言いました。「このお話しの意味は、新しい時代がやってく

る度に人々を救おうとして現される神様の聖約が、ちょうどこの箱舟なのよ。このお話し

では種類がちがう生き物でも一緒に乗り込んだでしょ。人間だったらなおさらよ。世界中の

人種のちがう人達が神様の教えに従えば、みんな幸せにくらすことができるのよ。神様の

教えに従わない人達は、けんかして傷つけあったり殺しあったりするでしょ。こういう人達

は自分の欲やわがままにおぼれ沈んでしまうのよ。」

末っ子のアニサはお母さんのひざから飛び降りて言いました。「そうね、神様の言われる

ことを聞かなかった人達はユニ・コーンと一緒にね。」これを聞いたアスマとリヤズは畳の

うえ わら  
上で笑いころげました。「ユニ・コーンとこのお話しと何の**はな** **なに** **かんけい**があるんだ？」 一番年上

の姉の**あね** **おとう**と**たち** **しか** **い**  
の姉のモナが弟 達を叱りながら言いました。「何を笑ってるのよ。アニサが泣き出すで

しょ。」 アニサが**にい** **たち**  
にお兄ちゃん達にアカンベールをしながら言いました。「ユニ・コーンなん

ていないでしょ。**し**  
知らなかったのね。ユニ・コーンは、このとき遊んで**あそ** **はこぶね** **の** **こ**  
箱舟に乗り込

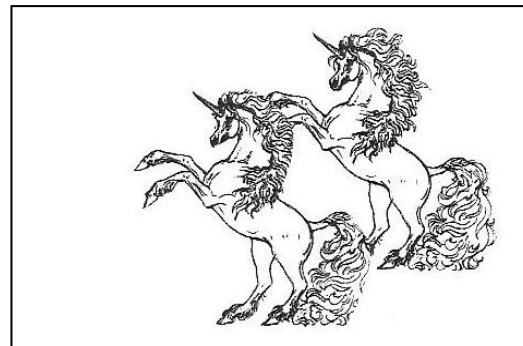
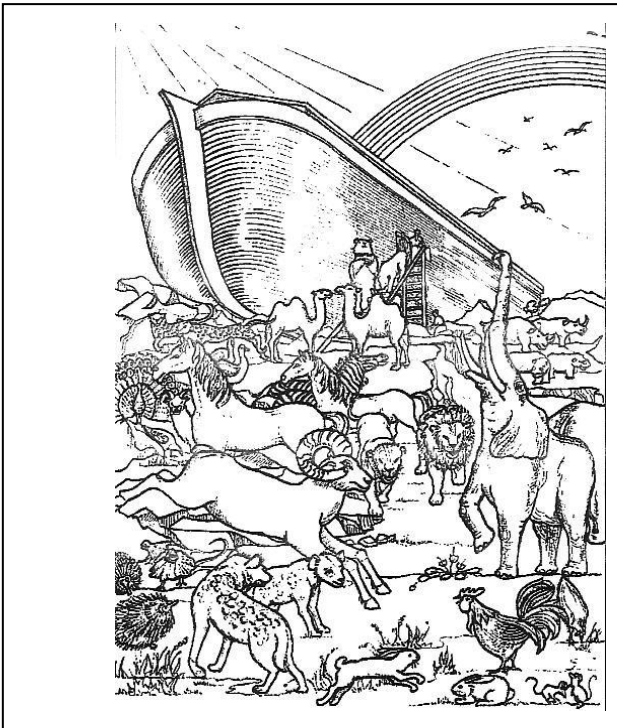
まなかったのよ。ノアが**の**  
乗りなさいと**い** **い** **き**  
言っても言うことを聞かなかったのよ。」 みんな笑っ

てしまいました。

**さいご** **かあ** **い**  
最後にお母さんが言いました。「そんなわけでアブドル・バハは**せいやく** **ちゅうしん** **かみさま** **やくそく**  
聖約の中心で、神様が約束

された方だったのよ。」 シャラが立ち上がって言いました。「お母さん、とても**い** **はなし**  
いいお話し

だったわ。ありがとう。私**わたし** **なに** **しつもん** **かんが**  
も何か質問を考 えなくちゃ。みんなお話しが大好きだもんね。」



**あわ** **ふか** **かみ** **かみ** **かんしゃ**  
おお哀れみ深き神よ！神に感謝します……あな  
**わたし** **ただ** **みち** **しめ** **たま** **すく** **はこぶね**  
たは私 に正しい道を示し給い、救いの箱船に  
**はい** **たま**  
入らせ給いました。」

## クイズ

1. アブドル・バハの心こころにいるのは誰だれですか。
2. アブドル・バハは誰だれの子こですか。
3. アブドル・バハが特別とくべつに関心かんしんをもたれたのは、どこの国くにですか。
4. アブドル・バハにイスラエルで仕えた日本人にほんじんは何なにと言う名いですか。
5. アブドル・バハが日本にほんの大使夫妻たいし ふうさいに伝えたのは何なんでしたか。
6. アブドル・バハは肌はだの色いろの違う人ちが ひとに会ったら私達あ わたしたちはどうすべきだと言われま  
したか。
7. アブドル・バハは見知らぬ人みし ひとに会ったら私達あ わたしたちはどうすべきだと言われま  
したか。
8. 「沖縄おきなわの子供こどものお話し」でお母さんはな かあはノアの箱舟はこぶねはどのようだと  
言われま  
したか。
9. 末っ子すえ このアニサをみんなが笑わらったのは何故なぜでしたか。

どう？ みんなできたかな？



こた  
答えは 「両親りょうしんのページ」にあります。

# ぬりえ

a から z まで

アルファベットの順じゅん てん むすに点を結ぶと

なに  
何ができるでしょう？



ウィンター・スクールに<sup>さんか</sup>参加した<sup>ともだち</sup>お友達





## ノウルーズのたまご

3月にバハイの大人(15歳以上)は断食をします。子供達は断食をしません、

皆がよい人になれるようにと美德のたまごの飾りつけをしてみましょう！断食

の19日間、毎日美德のたまごを一つ飾りましょう。断食が終わるとノウルーズ

という新年を祝いますが、その頃には、19個の美德のたまごが飾られているはず





## 美德のたまごの作り方

- 1 19個のたまごの両端に穴を1つずつ開けて片方の穴を吹いて他方の穴から中身を吹き出す。(中身はお母さんに料理してもらいましょう)
- 2 たまごの中をていねいに水洗いして完全に空にする。
- 3 白いクレヨンかろうそくを使って、たまごのからに「愛」とか「親切」といった美德を書き込む。(両親のページで美德を確認しましょう)
- 4 カップに食用色素と水と茶さじ一杯の酢を混ぜる。いろいろな色が入ったカップを用意しましょう。カップの中身は半分だけにしましょう。
- 5 4のカップにたまごを入れて、まんべんなく色づけをする。白い字の美德が浮かび上がってくる。そのたまごを別のカップにいれてどんな色になるか見るのも楽しいよ。
- 6 たまごが乾いたらきらきらと光り輝く飾りつけをしてもよいでしょう。
- 7 紙クリップでつくった釣り針を穴にひっかけて吊るす。このとき釣り針が抜けないように木工用のボンドか紙粘土で塗り固める。(美德の字がさかさまにならないようにしましょう)
- 8 家の周りにある小さい木か吊るせるものなら何でもノウルーズ・ツリーにする。写真にあるのは100円ショップで見つけてきたツリーである。ツリーに19個の美德のたまごを19日の断食の間、毎日一個ずつ飾りつける。

## 両親のページ

子供はお手本が必要です。お手本がなければ子供は勝手に映画スターや歌手や友達のお兄さんとかお姉さんの真似をしましょう。アブドル・バハ以上のお手本があるでしょうか。アブドル・バハのお話しや言葉は私達を喜びと人を愛することを教えてくれます。アブドル・バハについてのこれらのお話の本があります。「大樹の泉」とか「アブドル・バハのエピソード集」などがあります。バハイ子供クラスでは子供はこれらのお話を聞くことが出来ます。次のリストは日本全国のバハイ子供クラスがあるところです。これらのバハイ共同体では両親のスタディ・サークルもあります。是非参加されてみてはどうでしょうか。

東北 マンダヴィル・ダナ 022-234-1054 [mandeville\\_sen@ybb.ne.jp](mailto:mandeville_sen@ybb.ne.jp)

関東: ラムズデン涼 042-724-2209 [mikipooch1@gol.com](mailto:mikipooch1@gol.com)

関西・中部: スパンますみ 0774-65-2297 [mspann@theflyingpig.com](mailto:mspann@theflyingpig.com)

四国: 安藤宏子 087-823-7214 [ando-777@ad.cyberhome.ne.jp](mailto:ando-777@ad.cyberhome.ne.jp)

西中国: ヒギンズ・マリリン 083-922-9822 [mhiggins@c-able.ne.jp](mailto:mhiggins@c-able.ne.jp)

北九州: 秦 道子 092-926-3756 [mhata@rmail.plala.or.jp](mailto:mhata@rmail.plala.or.jp)

熊本: 平原ルアナ 096-235-6165 [vb7mb7@bma.biglobe.ne.jp](mailto:vb7mb7@bma.biglobe.ne.jp)

沖縄: 榎木聖子 098-886-0291 [naranponny@kind.ocn.ne.jp](mailto:naranponny@kind.ocn.ne.jp)

「子供教育についてのあなたの質問に対して。子供を神の愛の乳房で養育し、精神的なことに向かうよう促さなければなりません。そうすれば、彼らは神に顔を向け、行動は礼儀にかなない、性格は誰よりも優れ、人間のすべての美德と賞賛すべき属性を自分のものにし、学問の様々な分野の知識をしっかりと学ぶようになるでしょう。それによって彼らは幼い頃から精神的な存在になり、神の王国の住民になり、甘美なる神聖さの息に魅せられ、宗教に基づいた、精神的で天の王国の香りのする教育を受けるようになるでしょう。」 -アブドル・バハ-

びとく れい わごう きよ ところ しんせつ にんたい かんたい したが ところ ほうし しょうじき れいぎただ にんたい けんきよ むしよく  
美德の例) 和合、清い心、親切、忍耐、寛大、従う心、奉仕、正直、礼儀正しさ、忍耐、謙虚、無私欲、

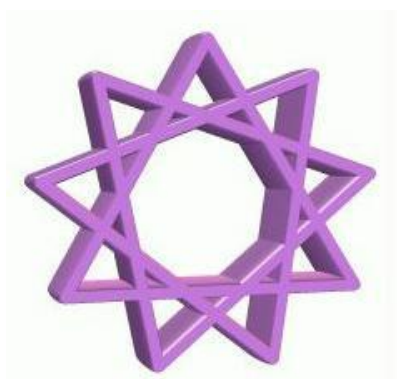
きょうりよく よろこ あい せいぎ そんけい しんらいせい せいけつ  
協力、喜び、愛、正義、尊敬、信頼性、清潔

しつもん かいとう わたしたち ちょうなん にほん ふじたさいちろう  
質問の回答) 1) 私達 みんなです。2) バハオラの長男 です。3) 日本。4) 藤田 佐一郎。5)

げんしりよく あい しんせつ せつ じぶん かぞく ともだち せつ かみ  
原子力。6) 愛と親切で接しなさい。7) 自分の家族か友達のように接しなさい。8) 神

せい やくそく おな かみ したが どうぶつ い  
との聖なる約束と同じ。9) ユニ・コーンは神に従わなかった動物と言ったから。

つ わやく せいしき  
\*このマークが付いている和訳は正式なものではありません。



皆さんのお子様のバハイ活動でみんなに役に立つ  
いいお話、又は写真などがあれば、教えてください。  
vb7mb7@bma.biglobe.ne.jp に送ってください。

## 「ひるの星」

日本バハイ全国精神行政会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 7 丁目 2 番 1 3 号

電話：03-3209-7521 FAX：03-3204-0773

アラ 164 年 BE 2008 年 3 月発行

No. 233

ひるの星委員会：マックティアー・理恵、平原静志、平原ルアナ

協力：

和訳：ブレイ和子、マックティアー・理恵、平原静志、平原朝真

写真：ジャナ、平原ルアナ

絵：カーティス・ラリー、石川則子、モード・ダリル、ヘインズワース加代子、

シュナイダー・ブリジット

コンピュータープログラマー：メイヤー・ニコラス

監修：平野祐一